

「品質向上」に茎数過剰が大敵！

~5月18日頃以降の高温で生育は前年・平年並みに回復!!~

品質は、『売切ること』・『生産数量目標』を大きく左右します。
そのため、“品質の向上”が必至です。

だから、これからの中干しがポイントとなります！

6月に入ったら、中干しを開始!!

1 5/10植えでも、分けつが始まっています (5/29 調査結果)

○老化苗の移植・移植後の強風・低温で一時、生育停滞したが、現在は急加速しています！

○去年の茎数調査では、5/30⇒6/10の間で2.3倍、

6/10⇒6/20の間で2.2倍でした。

○今までの生育が緩慢でも、これからの気象が高温・多照になった場合、茎数が急増して生育過剰になります。ほ場を確認しましょう。

2 今後の管理

中干し・溝切には、
3つの効果

- ①倒伏軽減、
- ②土壌への酸素供給、
- ③地耐力の確保

中干し・溝切りが、米の品質を左右!!
…生育状況を確認して、遅れずに実施!

中干し開始時期

- ① 田植後1ヶ月
- ② 目標穂数の7割を確保した時 (目標穂数: コシヒカリ 350本/m²、こしいぶき 400本/m²)

品質の低下は、生育過剰に伴う籾数過剰が主な原因となっていることから、特に田植え時期が早い地域では早期の中干しを徹底する。

品 種	地 帯	中干し開始 時期の茎数	植付株数 (株/坪)	中干し開始時期の 茎数めやす
コシヒカリ	平坦地	250本/m ²	50	16本/株
	中山間地		60	13本/株
こしいぶき	全域	280本/m ²	60	15本/株
			70	17本/株

注) 平坦地は生育過剰地域で試算

詳しくは、JA または 三条農業普及指導センターへ

電話 JA北営農センター: 39-7630 三条農業普及指導センター: 36-2259